

経理担当も顧問税理士もいる。 それでも、財務戦略まで 社長が担っていませんか。

月次の数字を経営判断に変え、
資金繰り、予算管理、銀行との対話、投資判断まで整理します。
社外CFO・財務顧問として日頃から伴走し、
社長が重要な意思決定に集中できる体制をつくります。



業績は順調。でも、財務戦略を担う人はいない。

- 01 

経理はいるが、
数字を判断材料に
変える人がいない
- 02 

銀行対応や借入方針を
社長がその都度
考えている
- 03 

投資・資金繰り・返済を
一体で検証
する人がいない
- 04 

財務責任者を置きたいが
採用難と固定費を
考えると難しい

会社は回っている。しかし、財務戦略が社長に集中したままでは、成長の壁になり得る。

現在の状態（会社は回っているが…）		社外CFOの支援で目指す状態
 財務管理 月次の数字は揃っているが、 論点整理まで社長が担い、 意思決定の前段に時間を取られている	→	 財務管理 財務課題と選択肢が整理され、 社長は判断と実行に集中できる
 銀行対応 融資のたびに個別対応となり、 借入全体の方針や金融機関ごとの 役割分担が定まっていない	→	 銀行対応 各行の条件・役割・関係性を整理し、 中長期の銀行取引方針を持てる
 投資判断 案件ごとの採算は見ているが、 投資後の資金繰りや返済負担、 次の投資余力まで見通せていない	→	 投資判断 投資後の財務影響まで検証し、 次の成長も見据えて判断できる

 必要に応じて顧問税理士とも連携し、資金調達・銀行対応・投資判断を財務面から支援します。

このような企業様を、主にご支援しています。



大型設備投資や
継続的な資金調達を
予定している企業



複数銀行との取引方針
を整理したい企業



財務戦略や銀行対応が
社長に集中している企業

年商3億円以上を一つの目安に、企業規模だけでなく、資金調達の規模や経営局面を重視します。



福岡を拠点に、全国対応

オンライン・出張でもご支援します

詳しい支援内容は裏面へ ▶

財務戦略を、 社長の頭の中だけに置かない。

社外CFOが月次の数字と経営課題を整理し、判断材料と選択肢を経営者へ提示します。
決めて終わるのではなく、実行後の結果を確認し、必要に応じて方針を見直ししながら、
次の投資や資金調達に備えます。

社外CFOと回す、月次の財務戦略サイクル



主な支援内容



支援イメージ



ご相談から支援開始まで



まずは個別テーマの整理やスポット支援からでも対応可能です。継続支援は、必要性を確認したうえでご判断いただけます。



村松 広輝

ホンマル株式会社 代表取締役

「事前の一手は、事後の百手に勝る」

大手地方銀行に約10年間勤務。営業店で法人融資を経験した後、
本部の融資審査部門にて累計2,000社超の融資審査に携わる。
現在は、銀行融資支援や銀行向け資料の作成、社外CFO・財務顧問としての
継続支援を通じ、中小企業の財務と経営判断を支援。

